

福島県活動優秀校公演

彦根東高校新聞部

ふくしまをつなぐ × 福島をつなぐ  
高校生たちが魅せた未来への力

▶オープニングでは福島高校ジャズ研究部が会場を魅了した。



優秀校公演開催



発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

滋賀県立彦根東高校新聞部は東日本大震災が発生した2011年から『福島をつなぐ』と題した連載を行っています。私たちはたびたび福島を訪問して取材をし、多くの人の意見を聞いて紙面を制作してきました。今年の3月に取材をさせていただいたご縁により、本日の優秀校公演に参加させていただきました。



▲発表を行う彦根東高校新聞部部長の馬場千磋さん（左）と副部長の明日海斗君

力が発信される場となつた。午後からは実行委員の生徒による特別企画『ふくしまをつなぐ』が行われ、相双地区を訪れた生徒たちが作成した詩が発表される予定だ。今回は他県交流企画として滋賀県立彦根東高校新聞部が招待された。新聞部員は普段の部活動の内容や連載『福島をつなぐ』の紹介を行った。発表を聞いた人々からは「滋賀の高校生がこのような活動をしていると知らなかったのでもっと広まってほしいと思った」「『福島が大好きです』という言葉が印象に残っている」などの声があがった。

12月16日とうほう・みんなの文化センターにて第37回福島県高等学校総合文化祭活動優秀校公演「ふくしまをつなぐ2018」が開催された。優秀校公演は福島高校ジャズ研究部によるJAZZの演奏によって幕を開けた。その後には福島県の高校の文化部と代表の高校生たちがステージ発表が行われ、会場は大いに盛り上がった。また展示発表では高校生たちの日々の成果が発表され、高校生たちの力が発信される場となつた。

2県の新聞部をつなぐ  
交流会開かれる

優秀校公演の前日には、彦根東高校の新聞部員と福島県の新聞部員の交流会が行われた。交流会では生徒たちが互いに取材を行い、親睦を深めた。



▲取材を通して交流を深める。

交流会に参加した福島県立福島高校の梅津成美さんは「久しぶりに震災について思い返した。当時は混乱のなかで考えられなかったことも、振り返ってみると新たな見方があった。もう一回福島と震災についての記事を書きたいと思う」と感想を寄せた。